

花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のかわかたドド撮立ててく5

国立市立国立第七小学校

平成29年5月25日 NO.20 (420)



花ちゃん 「あれあれ？^{うえ}上の^{しゃしん}写真はなんですか。」

オー君 「^{まる}丸^{にんぎょう}ぼうずのお人形みたいです。」

花ちゃん 「でも、よく^み見ると、^{みどり}緑の^は葉っぱみたいなものもついているようですね。」

オー君 「よく^み見ると、かわいいですね。これは何ですか。モンタ^{なん}博士^{はかせ}。」

モンタ博士 「これはね、モンタ^{はかせ}博士^{ふしぎ}の不思議な^{しょくぶつしょうかい}植物紹介^めの3つ目だよ。」

花ちゃん 「いままでに、エア^{しょくちゅうしょくぶつ}プランツとか、^{しょくちゅうしょくぶつ}食虫植物とかありましたね。」

モンタ博士 「これは、モンタ^{はかせ}博士^{つく}が作ったものでも、^{はっけん}発見したものでもないんだ。この^{まえ}前

ある花屋さんに行った時に見つけたものなんだ。おもしろそうなので、つい買ってしまったというわけさ。」

オー君 「ところで、何なんですか。こいつは？」

モンタ博士 「正式な商品名を出すといけないので、名前は言わずに遠慮しておくけど、よく見てごらん。何か気がつくことはないかな。」

花ちゃん 「番号と日付が書いてありますね。つまり継続観察しているわけですね。」

モンタ博士 「そのとおりだよ。このお人形みたいなのは、中にはおがくずがつめてあり、上のほうには植物の種子を入れてあるんだ。そして、水をあげるとその植物が芽を出してきて、何だか毛が生えてるように見えるということなんだ。」

オー君 「つまり、植物の成長の変化が楽しめるということですね。」

花ちゃん 「どうやってここまで育てたのですか。」

モンタ博士 「始めに水を含ませて、後はたまに水をあげているだけさ。」

オー君 「何だかかんたんだけど、おもしろそうですね。」

花ちゃん 「おもしろそうだし、何だかとってもかわいい感じですね。それに、緑の葉っぱが髪の毛みたいで、目にも優しい感じでいやされますね。」

モンタ博士 「そうだね。このままでどのくらい伸び続けるんだろうね。」

オー君 「伸びすぎたら、床屋さんみたいにカットしてあげたらいいね。」

花ちゃん 「カットだけでなく、リボンもつけてあげたらいいかもね。」

オー君 「ところで、この植物って何ですか。」

モンタ博士 「イタリアンライグラスというイネ科の植物らしいよ。」

花ちゃん 「よく見ると、白い根のようなものも見えますね。」

オー君 「白い根は白髪のようにも見えますね。」

花ちゃん 「これからどのくらい伸びるのでしょうか。」

モンタ博士 「そうだね。それはモンタ博士にもわからないんだ。」

オー君 「みんなでずっと継続観察してみようよ。」

花ちゃん 「そうですね。いつまで伸びるか、どんな花を咲かせるか楽しみですね。」

モンタ博士 「そうだね。楽しみだね。校長室前に置いておくのでみんなで見ていこう。」